

『芳生苑頑張った大賞』概要

平成 30 年 1 月 31 日職員実践報告会

ユニット名	主旨・タイトル	内容
東 A ユニット	これまでの生活をあきらめない	特別じゃない日常のささいな楽しみを積み重ねていく活動について発表。 ・胃ろうのかたの経口移行への取り組み、収穫祭、入院退所が決定した方へのパチンコの外出支援、レクリエーション大会等について報告。 ・ショートスティの方を交えた大変表情のよい写真集で 1 年間の活動をご利用者様と一緒にまとめ上げ報告を行った。
東 B ユニット	さりげない日常の支援	日々のさりげない関わりの中で、笑顔になってもらった事を発表。 ・帰宅願望のある方の帰省、食事会、散歩、外食、収穫祭などご利用者様への温かい想いがあふれた報告となった。
東 C ユニット	利用者視点のケアが本人の活力へ 『失禁を減らして快適な生活を過ごして頂くために』 『皮膚トラブルを改善して快適に過ごして頂くために』 『介護員との約束』	関わりを深めることで、利用者への思いに向き合うことができた事を発表 ・関わりが困難であった方への排泄介助の取り組みについて ・皮膚トラブルの改善について。 ・褥瘡改善、経口摂取を進めるにあたってのご利用者様と職員との関わりについて東 C ユニット、東棟全員で実践してきた事の素晴らしさを発表。
西 A ユニット	『 S さんありがとう』 ターミナルケア 短歌とお風呂と表皮剥離	実際に目を落とすまでは側にいてあげることができなかったけれど、最期を迎える直前まで関わる事ができたご利用者様への感謝と一つだけの後悔。 ・ターミナルは全てのケアが凝縮されていることを教えてくれた。 ・最期まで、本人の想いを大切に支援した。
西 B ユニット	外出支援 『好きな事を続け楽しく生活したい』	心身状態が変化しても、ご本人らしい生活を送ることが大切である。外出を希望したご利用者様への支援について発表。 ・ご利用者本人の希望を出来る限り実現してあげたいという想いを伝えた。
西 C ユニット	秋のちっちゃな運動会 『今年度頑張ったこと』	西 C ユニット恒例行事で、何年も継続している「家族と過ごす秋の運動会」について改めて報告。 ・以前より状態低下が見られるご利用者様が多いため、安全に楽しんでいただくためより細かな準備が必要であった。